

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況(令和元年度(2019年度))

緑色: 検討 青色: 一部(試行)実施 赤色: 本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和元年度(2019年度)の取組結果(成果・課題)		参考(グラフ・写真・ホームページ等)	取組時期(年度)									
				令和2年度(2020年度)の取組目標			2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2

基本方針1 市民の生活や活動に役立つ図書館

◆施策の方向性1◆ 幅広い分野の資料の収集





1	図書館サービス係	■蔵書構成の再構築	限られた財源の中で、幅広く役立つ本を収集するために、次の手順を踏む ◆現状構成の分析 ⇒◆選定決定手順見直し ⇒◆選定基準の見直し(複本・保存・更新も含む) なお、全館に関わる事柄であるため、プロジェクトを設立してH24年度末(2012年度末)を目途に検討	【令和元年度(2019年度)取組結果】 平成26年度(2014年度)策定の「蔵書構成の再構築に向けて」の基本方針の実現のため、次のとおり資料の収集選定を行った。 ○寄贈図書の有効活用により、限られた財源の中でのタイトル数の確保を進めた。 ○施設数が多く予算も大きい「区民・地区センター図書室」の選書を中央図書館が管理することにより、全体的な観点から効率的な資料収集を図った。 【令和2年度(2020年度)取組目標】 ○引き続き、蔵書構成の再構築の方針に沿った資料収集を進める。	【蔵書構成の推移】 2011 3% 12% 5% 7% 7% 1% 29% 24% 0% 2019 3% 12% 5% 7% 7% 1% 27% 24% 0% 0% 20% 40% 60% 80% 100% 統計学 哲学 歴史 社会科学 自然科学 技術・工学 産業 芸術 文学 児童書 その他	プロジェクトによる検討	試行実施 決定に基づき、逐次収集 蔵書構成の動向と収集計画案の提示	蔵書構成の動向による再構築の検証
		■郷土・行政資料の積極的な収集	◆現状分析(内部調査実施済) ◆公文書館と連携し、郷土・行政資料を確実に収集 ◆地区図書館、区民・地区センター図書室と連携した郷土・行政資料の収集方針の検討・改善	【令和元年度(2019年度)取組結果】 ○郷土・行政資料の収集は地区図書館等、公文書館も含め、多方面から積極的に情報収集を行い、漏漏がないよう努めた。札幌市出資団体・企業史等の発行情報収集に留意したほか、札幌市のみでなく、市政に生かせるような道内市町村独自の発行物も幅広く収集した。道と連携し行政資料収集を推進した。 【令和2年度(2020年度)取組目標】 ○引き続き、郷土・行政資料の発行情報把握に努め、公文書館、地区図書館等との連携を継続していく。また、道行政情報センターと引続き連携していく。	【郷土資料数】 92,566点(平成24年度末(2012年度末)) →113,518点(令和元年度末(2019年度末)) デジタルライブラリー ●札幌市図書館HP「デジタルライブラリー」	現状分析 検討・強化	検討結果に基づき、多様な方法により積極的に収集し、配架する。 従来の行政資料の収集に加え、出資団体、指定管理受託者の出版物の積極的収集を推進する。 地区図書館、まちづくりセンター、公文書館等からの情報収集による地域資料の積極的収集。(地域住民が保有している古い資料や地域独自作成の資料、地域情報等の資料収集) 北海道庁の協力による道行政資料収集	
		■視聴覚資料の継続的な収集	◆機器更新(H23年度(2011年度))を踏まえ、新メディア(ブルーレイディスク等)への対応推進 ◆所蔵点数増加に伴う貸出点数増の検討	【令和元年度(2019年度)取組結果】 ○R元年度(2019年度)新規登録点数(H31(2019).4.1~R2(2020).3.31)CD:中央図書館ほか4館計830点 DVD(中央図書館のみ)95点。 ○レーザーディスクは視聴する利用者がいるため、今後の状況を見ながら中央図書館閉架書庫(書庫4)に移動させるか検討。 ○図書館用著作権許諾のブルーレイディスクの発売は現在も不透明な状態が続いており、現時点では購入には至らない。 【令和2年度(2020年度)取組目標】 ○引き続き、棚不足対策においてレーザーディスク保管場所移動を検討。 ○厳しい財政状況の中での収集方針の検討。 ○図書館用として著作権許諾されたブルーレイディスクの発売は、将来的に不透明な状態が続いており、今後の動向を注視していく。	【視聴覚資料数の推移】 2012 18,337 15,017 18,115 17,214 13,567 11,802 18,256 18,432 2013 19,977 15,339 17,705 16,981 13,044 10,303 13,083 14,104 2014 20,222 15,358 17,057 16,051 13,048 10,303 13,083 14,104 2015 20,222 15,358 17,057 16,051 13,048 10,303 13,083 14,104 2016 20,222 15,358 17,057 16,051 13,048 10,303 13,083 14,104 2017 20,222 15,358 17,057 16,051 13,048 10,303 13,083 14,104 2018 20,222 15,358 17,057 16,051 13,048 10,303 13,083 14,104 2019 20,222 15,358 17,057 16,051 13,048 10,303 13,083 14,104 CD カセット ビデオ DVD LD	新メディア(ブルーレイ)への対応検討の継続	視聴覚ブースの将来展望の検討 ちえりあ所蔵CDとの合体貸出(約10000点) 保存棚の確保 視聴覚資料収集方針の検討 貸出点数の検討	

◆施策の方向性2◆ 分かりやすく、使いやすい情報提供

4-①	調査相談係	■レファレンス(※1)資料の充実・機能向上とサービスの周知	◆オンラインデータベースの拡充と来館者への開放 ◆各種ガイド・リスト・レファレンス資料の提供(紙媒体とHP版)	【令和元年度(2019年度)取組結果】 ○中央図書館は2月の蔵書一斉点検以降、コロナウイルスの関係で休館を続けていたため、昨年と比べると商用データベースの利用件数は減少する結果となった。 ○カルチャータイトにおいて、商用データベースを利用する催しを行い、利用促進のPRを行った。 ○パスファインダー(※2)については11件改訂、新たなものを1件作成し、紙媒体での交付及びホームページ上で公開した。 ○市民の暮らしをサポートする「暮らし応援棚」の資料の見直しを行い、医療ガイドラインに関する資料を多く購入・配架した。 【令和2年度(2020年度)取組目標】 ○図書・情報館と連携し、商用データベースの利用促進を図る。 ○パスファインダーを適宜見直ししていく。 ○「暮らし応援棚」の充実を目指し、利用者のニーズを探る。 ○オンラインレファレンスの開始(予定)	●パスファインダー ●中央図書館2階「暮らし応援棚」	来館者がオンラインデータベースを利用しやすい環境づくりを行い、利用の促進を図る。 パスファインダーの計画的な新規作成 パスファインダーの改訂作業 パスファインダーHP版の運用開始・紙媒体との棲み分け確立 情報ガイドの作成→調査相談係専門員全員による計画的作成 暮らし応援棚の設置、充実
		■レファレンス(※1)資料の充実・機能向上とサービスの周知	◆オンラインデータベースの拡充と来館者への開放 ◆各種ガイド・リスト・レファレンス資料の提供(紙媒体とHP版)	【令和元年度(2019年度)取組結果】 ○新聞や雑誌の記事、論文や法令、企業・業界情報などさまざまなオンラインデータベース(24種)を用意し、創業、起業を考える来館者やビジネスパーソンが利用できるようにしている。 ○セミナーや展示のテーマに合わせ、調べものにも有用なブックリストを作成し、配布している。 ○リサーチカウンター相談件数(4月~2月 合計5,413件、月平均492件、※利用案内を除く) 【令和2年度(2020年度)取組目標】 ○データベースの活用をさらに促進するために、利活用のためのミニセミナーの開催や外部専門団体との連携の中で(無料相談窓口)でもデータベースを活用した高度な相談を行えるようにしていく。 ○オンラインレファレンスの開始(予定)	●リサーチカウンター(図書・情報館)	来館者がオンラインデータベースを利用しやすい環境づくりを行い、利用の促進を図る。 開館準備 供用開始 セミナーや展示のテーマに合わせたブックリストの作成、配布
5	調査相談係	■非来館型レファレンスサービスの充実	◆メールレファレンスの検討と開始 ◆HP(ホームページ)上でレファレンス事例集・FAQ・パスファインダーを提供	【令和元年度(2019年度)取組結果】 ○メールレファレンスの件数は昨年までと同様の数字にとどまった。しかし、内容が専門的なレファレンスも多くなり、レファレンス1件に費やす時間は増えたように感じる。 ○HP上では31件のレファレンス事例を公開した。今後も、興味深い内容の事例を厳選して公開していく。 ○パスファインダー(※2)については11件改訂、新たなものを1件作成し、紙媒体での交付及びホームページ上で公開した。 【令和2年度(2020年度)取組目標】 ○メールレファレンスの回答の質の向上を図っていく。 ○パスファインダーを適宜見直ししていく。 ○ホームページ上でレファレンス事例の公開を継続して行う。	【メールレファレンス件数の推移】 2014 82 2015 94 2016 119 2017 122 2018 147 2019 126	メールレファレンスの提供、回答の質の向上を図る。 HPから入るメールレファレンスの表示を見やすくして利用者を増やす HP上でレファレンス事例を提供、事例公開の継続 HP上でパスファインダーを提供、新規作成および改定の実施 セミナーやイベント開催時にレファレンスのPRを実施

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和元年度（2019年度））

：検討 ：一部（試行）実施 ：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和元年度（2019年度）の取組結果（成果・課題）		参考（グラフ・写真・ホームページ等）	取組時期（年度）												
				令和2年度（2020年度）の取組目標			2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2			
6	調査相談係	■他の図書館との情報共有の推進	◆レファレンス協同データベースへの事例提供・公開（H23年度（2011年度）開始） ◆NDLサーチ（国立国会図書館サーチ）への円滑なデータ移行、所蔵目録送付の継続等により、全国の図書館が保有するデータの共同利用を推進	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○北海道や札幌市に関係した事例を中心に31事例を「レファレンス協同データベース」に提供した。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○「レファレンス協同データベース」は、今後参考となるような事例があった際に全国の図書館で情報を共有していく目的であるため、札幌、北海道の事例を中心として共有すべき事例を引き続き積極的に公開していく。															
7-①	図書館サービス係	■図書館サービスの高度化等の推進	◆蔵書検索システムの更新に合わせて目録を高度化するためMARC Tタイプを導入 ◆教育会図書や雑誌等の目録の再整備・高度化	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○NDL（日本十進分類法）9版から10版への改訂に伴い、分類変更について個別に確認が必要なMARCなしデータを抽出し、作業手順を定めた。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○H30に定めた作業手順に従い、個別確認が必要な資料の分類変更要否の確認及びデータ整備を進めるとともに、図書・雑誌の目録整備を適宜実施し検索利便性の向上を図っていく。	一部実施														
7-②	調査相談係	■図書館サービスの高度化等の推進	◆蔵書検索システムの更新に合わせて目録を高度化するためMARC Tタイプを導入 ◆教育会図書や雑誌等の目録の再整備・高度化	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○郷土資料は過去に作成した書誌情報にページ数、内容紹介等を追加した。 ○逐次刊行物の巻号登録及び内容細目を進めた。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○郷土資料は引き続き詳細情報の追加作業を継続する。 ○逐次刊行物の巻号登録及び内容細目を継続する。	一部実施														
◆施策の方向性3◆ ー 電子サービスの充実 ー																			
8-①	調査相談係	■紙媒体と電子媒体による情報提供	◆オンラインデータベースの拡充と来館者への開放《既出4》 ◆インターネット専用端末に調べ物用リンク集等を掲載 ◆無線LAN環境の整備の検討	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○オンラインデータベースと来館者への開放は事業No.4を参照のこと。 ○無線LAN環境については保守業者による定期的な電波測定により、安定提供を実現している。また、定期的なセキュリティキーの変更も継続して実施した。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○現在2Fのキャレールコーナーに限定しているWi-Fi利用を全館に拡大する是非について検討する。			データベースの拡充、調べ物用リンク集の検討・試行	調べもの用リンク集整備	調べもの用リンク集整備	調べもの用リンク集整備									
8-②	図書・情報館	■紙媒体と電子媒体による情報提供	◆オンラインデータベースの拡充と来館者への開放《既出4》 ◆無線LAN環境の整備の検討	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○新聞や雑誌の記事、論文や法令、企業・業界情報などさまざまなデータベース（24種）を用意し、創業、起業を考える来館者やビジネスパーソンが利用できるようにしている。 ○館内では無線LAN環境（Sapporo City Wi-Fi）を整え、インターネットが利用可能な環境を整えている。 ○Facebook、Instagram（SNS）を活用し、当館のセミナー情報や利用のヒントなど、利用促進が図られるような情報提供を行っている。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○データベース席の利用件数が少ないことから、その利用促進のために、ミニセミナーの開催や外部専門団体との連携の中で（無料相談窓口）でもデータベースを活用した高度な相談を行えるようにしていく。 ○無線LAN環境の安定的な稼働を行えるよう調整を行っている。															
9	地域支援係	■所蔵資料の電子書籍化の推進	◆電子化を拡大する資料の範囲を決定⇒実施	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○「さっぽろ絵本グランプリ」受賞作品5点、進路探究オリエンテーションで市内小学校3校の児童が作成した「おしごと探究4コママンガ」を電子書籍化するなど、電子書籍コンテンツの充実を図った。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○地域資料を中心に、利用者にとって価値のある資料の電子書籍化を検討、実施していく。 ○オンライン読み聞かせ（YouTube）の実施			実証実験	範囲検討	電子書籍化実施	電子書籍化実施	電子書籍化実施								
10-①	地域支援係・情報化推進担当係	■電子書籍貸出サービスの推進	◆電子書籍の貸出の研究⇒実施	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○電子図書館内でテーマを決めて特集を組み、定期的に面出しする資料の入れ替えを行った。 ○図書・情報館でも、電子書籍を開架できるようにした。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○電子図書館の認知度を向上させるため、電子図書館の活用を盛り込んだ事業や特集展示の実施を検討する。また、電なる利用の増加に向け、市で著作権を持つ市政資料や地域資料等の電子化を促進するほか、販売コンテンツについては、使用料更新の際に貸出状況等を踏まえて本の入れ替えを行うなど内容の充実を図り、電子書籍の魅力の向上に努める。			実証実験	基本設計	開発	開発	開発								






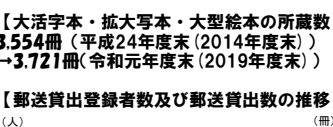

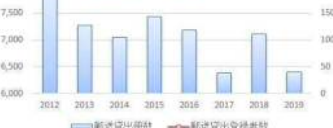
第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和元年度（2019年度））

緑色：検討 青色：一部（試行）実施 赤色：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和元年度（2019年度）の取組結果（成果・課題）	参考（グラフ・写真・ホームページ等）	取組時期（年度）											
				令和2年度（2020年度）の取組目標		2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2		
12-③	調査相談係	■講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性（蔵書）を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ（図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開） ◆子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信（利用者の知的好奇心に応える事業展開）	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○一般向け行事 映画「がんと生きる言葉の処方箋」特別上映会&監督トークイベント、図書館で知る防災情報セミナー「ブラックアウトから1年 ムリなくできる備えと防災」、国際交流セミナー「Hello, World!〜魅力たっぷり！ドイツとロシア〜」、国際交流セミナー「中央図書館から始める世界の旅〜留学生文化紹介セミナー2019〜」、講演会「それ捨てるんですか？！身近すぎてわからない『まち文化遺産』の価値」、講演会「五稜星と開拓使、そして開拓使酒造造所」 ○展示 企画展「砂澤ピッキ」、姉妹都市関連展示「もしも英語を話せたら世界に友だち100人できるかな？」企画展「まち文化商店街〜さっぽろの「くらし」集めました」、札幌演劇シーズン2019夏×中央図書館連携展示「寺山修司×山田太一」、図書館総合展2019ブース展示、企画展示「おめでとう！絵本作家あべ弘士さん・デビュー30周年」、所蔵資料特別展「開拓使とビールのおいしい関係」、資料展示（「終戦の夏〜小説の中のシベリア抑留」）、ミニ展示（「札幌の公園・緑地」、「くらしとことの情報ガイド〜さっぽろの行政資料」、「マンガで知る札幌ものがたり」、「北の山めぐり」、「大学とまちづくり〜つながる未来へ」、「北海道民あるある!」、「北海道ゆかりの絵本」、「図書館でみる本〜大きい本・小さい本」、「北海道の重大ニュース!（平成版）」、「北海道の哺乳動物」） 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○一般向け行事 所蔵資料展関連講演会、暮らしに役立つ情報探索セミナー ○展示 企画展「札幌市の図書館70年のあゆみ」、所蔵資料展「島義勇と札幌さっぽろ開拓ものがたり」（仮称）、さっぽろ資料室ミニ展示月1回（「flower Garden in Hokkaido」ほか）	 ●映画「がんと生きる言葉の処方箋」特別上映会&監督トークイベント  ●講演会「それ捨てるんですか？！身近すぎてわからない『まち文化遺産』の価値」	一部実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	社会の動きや市民の関心の高いテーマに関する講演会や展示の検討、実施	他団体との連携した事業の実施	えほん図書館、図書・情報館関連の行事や展示の取組							
12-④	えほん図書館	■講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性（蔵書）を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ（図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開） ◆発達段階に応じた子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信（利用者の知的好奇心に応える事業展開）	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○子どもの発達段階に応じた年齢別おはなし会、えほんとわらべうたの会のほか、登録ボランティア団体によるおはなし会等を開催 ○乳幼児とその保護者を対象として、図書館デビュー（プロのアーティスト等が出演する読み聞かせイベント）、ぬいぐるみおとまり会（子どものぬいぐるみを預かり、ぬいぐるみの図書館を探検する様子を撮影し、迎えにきた子どもにぬいぐるみと写真アルバムを渡し、ぬいぐるみの運んだおすめの本を紹介する）、各種ワークショップ（飛び出す絵本づくりや入ロガラス面に絵本にちなんだ絵を描く企画等）などを開催 ○「絵本講座」として大手出版社の絵本編集者による講座を開催 ○「デジタル絵本ワークショップ」として、デジタル絵本づくりやデジタル機器を活用した絵本バッグの創作体験等を開催 ○小学校入学前までに絵本を1,000冊読むことに挑戦するプログラム「めざせ！えほんマイスター」を継続実施 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○図書館デビュー、ぬいぐるみおとまり会、各種ワークショップ、「めざせ！えほんマイスター」の継続実施	 ●えほんマイスター達成者への証明書授与  ●ガラスにお絵かきワークショップ  ●ぬいぐるみおとまり会  ●えほんとわらべうたの会		年度ごとに事業の柱を立てて実施	年齢に応じたサービスプログラムの開発と実施 乳幼児・保護者向け行事の実施	○年齢別おはなし会 ○図書館デビュー ○ぬいぐるみおとまり会 ○絵本講座 ○ボランティア講座 ○各種ワークショップ ○めざせ！えほんマイスターの実施(H30〜) など	幼稚園・保育園などの団体利用の受け入れ							
12-⑤	図書・情報館	■講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性（蔵書）を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ（図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開） ◆知の拠点としての情報発信（利用者の知的好奇心に応える事業展開）	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○Work（仕事に役立つ）関連としてビジネススキルを高めるようなセミナーを毎月1回（「起業のモヤモヤがカタチになる！〜一歩を踏み出すための相談窓口活用術〜」等）、Life（暮らしを助ける）、Art（芸術に触れる）関連のセミナーとして毎月1本（「あなたの野菜の美味しい活かし方〜趣味から副業まで〜」等）のセミナーを開催した。そのほか、市民交流プラザや札幌市、北海道大学との連携で随時、セミナーを行った。（40回開催、毎月Work系1本、LIFE、ART系1本を基本としている） 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○セミナーの質が維持できるよう留意しながら、連携する専門団体を広げつつ、利用者のニーズにそったセミナーを同じペース（月に2本）で開催していく。	 ●法テラス劇場					開館準備	供用開始	Work（仕事に役立つ）、Life（暮らしを助ける）、Art（芸術に触れる）に関連したセミナーの実施	関係団体と連携したセミナー等の実施				
13-①	図書館サービス係	■テーマ別の図書展示の実施	◆関心の喚起を狙った資料の再編成・複合化及び貴重資料・特殊コレクションの公開 ◆実展示とウェブ上での展示の効果的、複合的な利用 ◆展示資料のリスト等作成による資料利用の促進、関心喚起	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○1階図書室の展示回数26回（「北社夫のどくるとマンボウ昆虫展」、「平成から令和へ」、「活き活き健康、ウォーキング」、「夏を楽しむ」、「備えていますか？『地震』」、「がんを身近に考える」など） ○令和元年度（2019年度）から札幌市各局との「図書館を活用した連携事業」を開始し、各部署の事業と連動した図書展示を行うことにより、利用者に対し新たな図書との出会いを提供するとともに、本市の様々な事業に興味を持ってもらえるような相乗効果を狙った取り組みを行った。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○新刊を十分に購入できない中でも、テーマ別の図書展示実施により書庫の本が利用者の目に触れ貸し出される機会が増えている。資源の有効活用のためにも、継続的に様々なテーマの展示を行う体制を維持していく。	 ●図書室の展示「平成から令和へ」(中央図書館)	展示スペース更新	各分野において図書館および資料への理解をすすめる、関心を喚起する図書展示	行事や講座と関連した図書室展示 各分野において図書館および資料への理解をすすめる、関心を喚起する図書展示	図書館内リニューアルして展示スペースの更新	図書館を活用した札幌市各局との連携事業と連動した展示等の実施							


第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和元年度（2019年度））

緑色：検討 青色：一部（試行）実施 赤色：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和元年度（2019年度）の取組結果（成果・課題）		参考（グラフ・写真・ホームページ等）	取組時期（年度）									
				令和元年度（2019年度）の取組結果	令和2年度（2020年度）の取組目標		2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2
13-②	調査相談係	■テーマ別の図書展示の実施	◆関心の喚起を狙った資料の再編成・複合化及び貴重資料・特殊コレクションの公開 ◆実展示とウェブ上での展示の効果的、複合的な利用 ◆展示資料のリスト等作成による資料利用の促進、関心喚起	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○旭川出身の彫刻家・砂澤ビッキの没後30年、同じく旭川出身の絵本作家あべ弘士氏のデビュー30周年を記念した企画展示を実施。また、毎年開催している所蔵資料特別展として、今年はサッポロビール株式会社との協力のもと「開拓使とビールのおいしい関係」と題した展示と講演会「五稜星と開拓使、そして開拓使麦酒醸造所」を実施し、開拓使とビールにまつわる資料を紹介した。例年のさっぽろ資料室ミニ展示は、毎月テーマを変えて開催した（「札幌の公園・緑地」、「くらしとごとの情報ガイド」、「マンガで知る札幌ものがたり」ほか）。 ○昨年度に引き続き1階図書室入口展示架を活用し、札幌演劇シーズン2019夏×中央図書館連携展示「寺山修司×山田太一」などを実施した。 ○展示リストを作成配布、HPに公開し、蔵書検索システムの「テーマ展示」にも公開した。	【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○企画展「札幌市の図書館70年のあゆみ」、所蔵資料展（内容未定）と関連講演会を開催する。また、月1回のさっぽろ資料室ミニ展示（「Flower Garden in Hokkaido」等）のほか、終戦時期に合わせて「シベリア抑留」関連の資料展示を開催する。 ○展示リストを作成し配布、HPに公開、蔵書検索システムの「テーマ展示」にも公開する。	 ●ミニ展示「札幌の公園・緑地」	2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2
				各分野において図書館および資料への理解をすすめる、関心を喚起する図書展示 郷土資料の展示室展示で貴重資料公開 各分野において図書館および資料への理解をすすめる、関心を喚起する図書展示 展示リストの配布と館内HPへの公開 貴重資料、特殊コレクションの積極的公開、目録・リストの作成 図書館内リニューアルにて展示スペースの更新												
13-③	図書・情報館	■テーマ別の図書展示の実施	◆関心の喚起を狙った資料の再編成・複合化及び貴重資料・特殊コレクションの公開 ◆実展示とウェブ上での展示の効果的、複合的な利用 ◆展示資料のリスト等作成による資料利用の促進、関心喚起	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○セミナーのテーマに呼応した形での図書展示（起業セミナー等）や市民交流プラザとの連携などにより図書展示を行った。	【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○連携する行催事、団体を拡げながら、図書・情報館の利用を促進するような展示を引き続き行っていく。	 ●「札幌スタイルプロモーション」イベントとの連携（図書・情報館）										
				開館準備 供用開始 セミナー等のテーマに対応した図書展示や、市民交流プラザとの連携などによる図書展示の実施												
14	地域支援係	■図書館見学や職場体験の充実	◆司書体験や館内ツアーの多様化の検討と実施	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○司書課程実習1回13人、1日司書体験5回39人、総合学習・職場体験等20回599人	【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○引き続き見学の受け入れや職場体験を積極的に受け入れるとともにニーズに応じたきめ細かな対応をしていく。	 ●一日司書体験（カウンター体験） ●一日司書体験（書庫見学）	一部実施 小学生向け図書館オリエンテーリング	インターンシップ・職場体験の積極的受入 インターンシップ・職場体験の積極的受入	中・高校生向け図書館オリエンテーリングの検討と試行 館内ツアー多様化の検討	中・高校生向け図書館オリエンテーリングの受け入れ 館内ツアーの受け入れ						
				◆施策の方向性2◆ — 誰もが利用しやすい施設の整備とサービスの充実 —												
15	総務係	■案内表示等の充実	◆表示や設備のユニバーサル化について、H23年度（2011年度）に中央図書館で実施 ◆地区図書館についてはH24年度（2012年度）以降に中央館とのサイン表示の統一も視野に入れた検討と実施を行う。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○地区図書館の案内表示の充実を図るため、引き続き検討を継続した。	【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○今後も引き続き検討。中央図書館の機器更新や一部地区図書館の案内表示実施状況を参考に地区図書館の機器更新等についての検討を行う。	 ●案内表示の改良（東札幌図書館）	中央図書館実施 地区図書館検討									
16	情報化推進担当係	■算システム更新	◆蔵書検索システム・業務システムの改善（子ども～高齢者まで使いやすい）、電子書籍貸出し機能、SAPICAへの図書貸出券機能付加	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○蔵書検索・予約システムの機器の入れ替えとシステムの更新を行った。	【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○更新システムに残る不具合について対応し、安定的なシステム稼働を実現する。	 ●図書館システム機器更新	基本設計 開発	新システム稼働（運用保守、システム改善、不具合対応） えほん図書館開設に伴う改修の計画と実施（ICタグ、自動貸出機） 図書・情報館開設に伴う改修の計画と実施 次期更新に向け情報収集システム改善事項検討	基本設計 更新作業							
17	図書館サービス係	■高齢者・障がいのある方向けの資料の充実と利用環境の整備	◆出版状況の調査やボランティア団体との連携による大活字本・拡大写本・大型絵本等の収集充実 ◆拡大読書器や宅配貸出の充実、視覚障がい者等に対応したWebサービスの導入	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○大活字本・拡大写本所蔵冊数：3,437冊 ○大型絵本：152冊、超大型絵本：132冊 ○郵送貸出登録者215人（H31（2019）比10人減）、郵送貸出冊数5,854点（H31（2019）比1,258点減） ○OLLブックコーナーの充実	【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○大活字本等の収集については、令和元年度（2019年度）と同等の水準を確保 ○郵送貸出サービスについては、引き続き円滑なサービス提供を目指す。 ○電子書籍は、文字の拡大等が可能なため、障がいのある方への利用促進を図る。	 【大活字本・拡大写本・大型絵本の所蔵数】 3,554冊（平成24年度末（2014年度末）） →3,721冊（令和元年度末（2019年度末）） 【郵送貸出登録者数及び郵送貸出数の推移】 （人）（冊） 	大活字本等の出版目録による収集強化とボランティア団体が制作する拡大写本の収集 障がい者対応（HPの文字の拡大、音声読み上げソフトに対応） ○拡大読書器の更新（H30（2018）） LLブックコーナーの設置									
18	図書館サービス係	■視覚障がい者情報センターとの情報の共有と発信	◆視覚障がい者へのサービス充実に向け、情報センターとの意見交換と研修の推進 ◆障がい者向けサービス掲載のパンフレット配布など、情報センター利用者へのPRを強化	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○「障害者サービス担当職員養成講座」へ図書館専門員を派遣 ○外部講師を招いたサービスアップ研修を実施 ○点訳用資料の特別貸出を実施	【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○障がい者向けサービスの充実に向け、関係機関と情報共有を図るとともに、必要な方に必要な情報が届くようPR方法を検討する。 ○引き続き、「障害者サービス担当職員養成講座」へ職員を派遣していくとともに、外部講師を招いた障がい者・高齢者サービスの研修も計画していく。		相互の業務を理解するため、意見交換と研修を継続的に実施 PR手法検討 視覚障がい者情報センターと連携・協力したPR媒体の作成と配布									

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和元年度（2019年度））

緑色：検討 青色：一部（試行）実施 赤色：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和元年度（2019年度）の取組結果（成果・課題）		参考（グラフ・写真・ホームページ等）	取組時期（年度）																	
				令和2年度（2020年度）の取組目標			2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2								
◆施策の方向性3◆ — 子どもの読書環境の充実 —																								
19-①	地域支援係	■普及事業の充実	幼児～高校生の読書促進施策の充実 ◆子ども向け行事の充実（ボランティアとの協働、全館行事の強化） ◆毎年度ごとに、子ども読書チャレンジプロジェクトの企画更新を続ける	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○こどもの読書週間（4/23～5/12）及び読書週間（10/27～11/9）に係る全館特別行事、年間を通して様々な行事を行う子ども読書チャレンジプロジェクトの実施等により、子どもたちが図書や図書館に触れる機会を多数創出した。 【小学生向け行事】 進路探究オリエンテーション、【中学生向け行事】 図書局員による特色ある取組発表、中・高生ビブリオバトル 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○第3次札幌市子どもの読書活動推進計画の達成に向け、過年度実施内容の検証、関係部との協議等を行い今後の事業内容のレベルアップを図る。 また、令和3年度（2021年度）中に次期計画を策定する予定であることから、今までの実績を踏まえつつ、さらに効果ある事業のあり方を検討する。 ○書き終わった「読書ノート」を提示することで、称号入り缶バッジがもらえる「めざせ！子ども館長」を実施			第1期子ども読書チャレンジプロジェクト 第2期子ども読書チャレンジプロジェクト ○進路探究オリエンテーション ○図書局員による特色ある取組発表 ○中・高生ビブリオバトル など																	
19-②	えほん図書館	■普及事業の充実	乳幼児の読書促進施策の充実 ◆親子で絵本に親しみかけづくりの場の提供 ◆図書館を利用する習慣がない乳幼児の来館機会の創出	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○子どもの発達段階に応じた年齢別おはなし会、えほんとわらべうたの会のほか、登録ボランティア団体によるおはなし会を開催 ○乳幼児とその保護者を対象として、図書館デビュー、ぬいぐるみおとまり会、各種ワークショップなどを開催 ○「デジタル絵本ワークショップ」として、デジタル絵本づくりやデジタル機器を活用した絵本バッグの創作体験等を開催 ○小学校入学前までに絵本を1,000冊読むことに挑戦するプログラム「めざせ！えほんマイスター」を継続実施 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○図書館デビュー、ぬいぐるみおとまり会、各種ワークショップ、「めざせ！えほんマイスター」の継続実施		 	●図書館デビュー ●デジタル絵本ワークショップ	第2期子ども読書チャレンジプロジェクト ○図書館デビュー 普及事業の実施と充実 ○年齢別おはなし会 ○図書館デビュー ○ぬいぐるみおとまり会 ○絵本講座 ○ボランティア講座 ○各種ワークショップ ○めざせ！えほんマイスターの実施(H30～) など																
20-①	地域支援係	■図書展示やブックリストの充実	◆こどもの森内の時節や季節に応じた展示を充実し、児童生徒の読書への関心を喚起する ◆ミニ展示中の資料をリスト化して配布するほか、Web上でも公開する	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○時節に応じた展示・装飾をこどもの森内で実施。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○引き続き児童・生徒の興味・関心を喚起するような展示テーマを選択するとともに、効果的な展示を行っている。 ○館内にて配布している人気シリーズ本のリストを更新し、HP上で公開する。			●こどもの森（中央図書館） 展示（スポーツ）の様子	各種展示の継続とPRの強化、一般資料展示との連携 関係団体作成の読書関連リストの展示と、ミニ展示における展示資料リストの作成 図書館内リニューアルによる子どもの森の展示の充実 ぬいぐるみのおとまり会等の行事と連携したおすすめ本の紹介や展示 発達段階に応じた資料の充実へのステップとするヤングアダルト関連本の展示																
20-②	えほん図書館	■図書展示やブックリストの充実	◆対象年齢別、テーマ別に おすすめの絵本を紹介	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○おすすめ絵本を紹介するブックリストの配布及び電子図書館における公開 年齢別ブックリストと、「のりもの」「おばけ」などテーマ別ブックリストを作成し配布している他、同コンテンツを電子図書館にて公開した。 ○館内の特設展示コーナーやジャケット架にて、子どもに身近な季節やテーマ等の絵本を紹介する展示を定期的に入れ替えながら実施している。「お仕事の絵本」「たなばた絵本特集」「自然と遊ぶ」等 【令和2年度（2020年度）取組目標】 OR元年度（2019年度）の取組を継続実施		 	●ブックリスト ●特設展示「お仕事の絵本」	対象年齢別のおすすめ絵本の紹介ブックリストの作成 本の紹介や展示																
21-①	地域支援係	■発達段階に応じた図書、資料の充実	◆児童書研究資料の充実や各種目録を参考にした蔵書の充実 ◆児童サービス関係研修への参加や関係機関との情報交換等による児童担当職員の育成	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○引き続き児童研究資料を購入し充実を図った。外部講師（絵本作家）を招いて児童サービス研修を実施した。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○児童研究資料の充実を図る。 ○外部講師を招いての児童サービス研修を予定している。			●児童研究室（中央図書館）	児童研究資料の充実等による適切な資料収集と、利用者に対する的確なアドバイスの実行 関係機関が主催する研修等への積極的参加と児童サービス関係者との意見交換によるスキルアップ 児童担当による出前講座での絵本読みかせ講座 児童担当による職員への絵本の読みかせ講座、子どもへの読みかせの検討と実施																
21-②	えほん図書館	■発達段階に応じた図書、資料の充実	◆絵本文化に係る一般向け資料の計画的収集 ◆絵本への理解を深めることのできる蔵書環境の整備	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○令和元年度（2019年度）は以下のとおり資料を追加・更新 ・新刊絵本は、子どもの年齢別に必要なもの約900冊 ・既刊絵本は、紙芝居を含めて約200冊 ・絵本に関する一般書を約40冊 ○年齢別おはなし会やえほんとわらべうたの会等の開催時に読み聞かせとともに資料を紹介。 ○館内の特設展示コーナーやジャケット架にて、子どもに身近な季節やテーマ等の絵本を紹介する展示を定期的に入れ替えながら実施しているほか、年齢別、テーマ別のおすすめ絵本をブックリストで紹介。 【課題】 ○開館から3年が経過し、絵本の損耗が進み、修理や買換えする必要がある本が増加。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 今後は、開架スペースの状況を見据え、新刊の購入数を減らし、既刊絵本の購入数を増やし、蔵書の更新ができるようにしていく。また、今後も館内の特設展示コーナーやジャケット架での絵本の紹介展示を展開していくと共にブックリストを活用し、来館者への情報提供に努めていく。		 	●特設展示「ホローニヤ・チャイルドレンズ・ブックフェア」 ●特設展示「北欧の絵本」	資料の充実 作品情報を展示、ブックリスト等で紹介 年齢別のお話会の実施等																



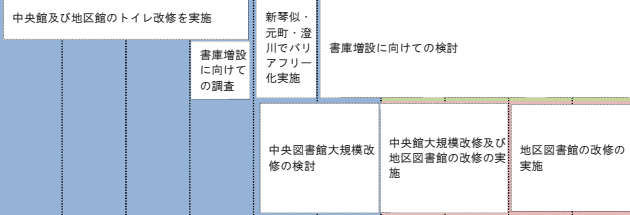
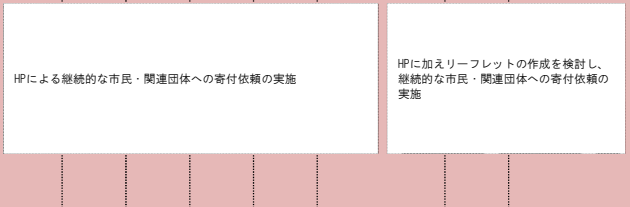
第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和元年度（2019年度））

緑色：検討 青色：一部（試行）実施 赤色：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和元年度（2019年度）の取組結果（成果・課題）		参考（グラフ・写真・ホームページ等）	取組時期（年度）														
				令和元年度（2019年度）の取組結果	令和2年度（2020年度）の取組目標		2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2					
◆施策の方向性2◆ — 市民との協働 —																					
26-①	総務係	■満足度や評価についての調査の継続	◆日々利用者から寄せられる苦情・要望の分析（アンケートフォーム、市民の声を聞く課を通じた要望等） ◆これらについて、取りまとめた結果を公表（図書館協議会、WEB）	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○日々寄せられるご意見・ご要望を取りまとめ、HP上で公表した。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○日々寄せられるご意見・ご要望を取りまとめ、HP上での公表を継続する。		【満足度の推移（中央図書館及びえほん図書館、地区図書館）】 満足：84.1% (H23), 87.2% (H24), 84.8% (H25), 82.9% (H26), 82.8% (H27), 83.5% (H28), 91.4% (H29), 92.0% (H30), 89.4% (R元) 不満：10.8% (H23), 9.1% (H24), 11.1% (H25), 11.1% (H26), 12.8% (H27), 10.7% (H28), 6.6% (H29), 6.3% (H30), 8.2% (R元)	日々寄せられる苦情・要望へ対応														
26-②	企画担当係	■満足度や評価についての調査の継続	◆市民の満足度調査として、利用者アンケートを実施（年度末） ◆これらについて、取りまとめた結果を公表（図書館協議会、WEB） ※H23年度（2011年度）：中央館+地区図書館、H24年度（2012年度）以降：区民・地区センター図書室への導入検討（区政課との協議）	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○平成31年（2019年）4月にHPにおいて、2018年度の利用者アンケート結果を掲載するとともに、中央図書館、地区図書館、えほん図書館において、各施設のアンケート結果を掲示した。 ○2019年度の利用者アンケート結果を次年度の取組等に反映させるため、中央館及びえほん館、図書・情報館、地区館について年内に取りまとめをした。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○引き続き、令和元年度（2019年）と同様の時期に利用者アンケート調査を実施する。		中央館・地区館で利用者アンケートを実施し、翌年度WEB上で公表	中央館・地区館に加え、区民センター図書室等でも利用者アンケートを実施し、翌年度HP上で公表	毎年度末までに利用者アンケートを実施・集計 ⇒年度中にHP上で公表 ※中央図書館、地区図書館、区民・地区センター図書室等分 （平成29（2017）～えほん図書館、令和元（2019）～図書・情報館を加）												利用者アンケート結果を各施設において掲示 ※中央図書館、地区図書館、えほん図書館、図書・情報館分	
27-①	地域支援係	■関係機関やボランティア団体との連携拡大	◆教育機関や市他部局、ボランティア団体との連携を図り、幅広いテーマの事業を行う。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○児童向け行事 日本ハムファイターズ読書推進全道キャンペーン（北海道主催）への参加協力、わんわん読み聞かせ会（公益社団法人日本動物病院協会との共催）の実施 ○児童・一般向け行事 札幌市立高校生ポर्टランド派遣帰国報告会の実施（国際部との連携）、カルチャーナイト「本のおたのしみ袋」 ○一般向け行事 サイエンス・フォーラムinさっぽろ（サイエンス・コンソーシアム札幌主催、計5回）、美術への誘い（さっぽろ家庭読書フォーラム図書局発表（学校教育部との連携） その他、CISE（※4）ネットワークと連携し、「調べる学習支援トランクキット」を学校図書館司書配置中学校を対象に貸出（30件）。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○社会の動きや市民ニーズを把握して幅広いテーマの事業を開催できるよう検討する。		 ●カルチャーナイト「本のおたのしみ袋」	毎年度の普及事業の企画の際に、関係団体等との連携拡大を図る														社会の動きや市民ニーズを把握した幅広いテーマの事業検討・実施
27-②	えほん図書館	■関係機関やボランティア団体との連携拡大	◆教育機関や市他部局、ボランティア団体との連携を図り、幅広いテーマの事業を行う。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○登録ボランティア団体によるおはなし会等各種行事の実施（登録11団体、開催67回） ○幼稚園、保育園等の団体利用（49件） ○（保）動物管理センターと連携した、動物愛護をテーマとした展示を実施 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○登録ボランティア団体によるおはなし会等各種行事の実施 ○幼稚園、保育園等の団体利用の実施 ○R元年度に引き続き、（保）動物管理センターと連携した、動物愛護をテーマとした展示を実施予定		 ●年齢おはなし会（1～2歳）	毎年度の普及事業の企画の際に、目的に応じて関係団体等との連携を図る。														社会の動きや市民ニーズを把握した幅広いテーマの事業検討・実施
27-③	図書・情報館	■関係機関やボランティア団体との連携拡大	◆教育機関や市他部局、ボランティア団体との連携を図り、幅広いテーマの事業を行う。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○外部専門団体との連携によりセミナーを開催した。（北海道よろず支援、行政書士会、リラコワ、北海道大学等、計10回） ○外部専門団体による無料相談会を2階カウンターにて毎週開催した。（日本政策金融公庫、北海道よろず支援拠点、法テラス、中小企業支援センター）計200回開催、相談件数222件 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○引き続き、連携によりセミナーや無料相談会を行いながら、連携先を拡大し、より利用者に多くの情報入手、相談の機会を提供していく。 ○無料相談窓口への相談件数が伸び悩んでいることから、周知に関して、様々な形で情報提供を行っていく。		 ●日本政策金融公庫との連携「創業セミナー」	関係団体との連携によるセミナーの実施														無料相談窓口の継続実施とPRの促進
27-④	企画担当係	■関係機関やボランティア団体との連携拡大	◆教育機関や市他部局、ボランティア団体との連携を図り、幅広いテーマの事業を行う。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○第3次札幌市生涯学習推進構想での図書館の位置づけや図書館協議会からの答申「生涯学習社会の中で札幌市図書館が果たすべき役割について」も考慮に入れながら、図書館と生涯学習センターとの連携を核とした新たな生涯学習推進体制を構築していくための考え方である「図書館との連携を核とした新たな生涯学習推進体制の方針」を平成30年（2018年）4月に定め、図書館と生涯学習センターとの連携した事業を開始した。 ・ご近所先生企画講座の実施「エッセイを書いてみよう（中央図書館）」、「自分の機種で学べる～ふれ～楽しむスマホ＆タブレット（同上）」、「100歳まで安心できるお金の話～単身世帯に必要な知識と備え～（同上）」、「最新テクノロジーで迫る日本古代史～ドローン・電子地図・動画を用いて～（同上）」、「片づけたくなる！私の家～台所・洋服・押入れを整理しよう～（東札幌図書館）」 ・札幌市民カレッジ講座の実施「手抜きに見えない時短ビジネスメイク術（図書・情報館）」、「好印象を与えるセルフコーディネート（同上）」、「さっぽろ10区めぐり～白石区編～（東札幌図書館）」、「はじめての短歌創作～色を詠む～（中央図書館）」 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○引き続き、「図書館との連携を核とした新たな生涯学習推進体制の方針」に沿った事業を実施。		 ●札幌市民カレッジ講座（生涯学習センターとの連携事業）	教育委員会内方針「図書館との連携を核とした新たな生涯学習推進体制の方針」策定に向けた検討	第3次札幌市生涯学習推進体制構築策定	図書館と生涯学習センターとの連携を核とした新たな生涯学習推進体制の構築にむけた検討及び事業の実施												

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和元年度（2019年度））

緑色：検討 青色：一部（試行）実施 赤色：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和元年度（2019年度）の取組結果（成果・課題）		参考（グラフ・写真・ホームページ等）	取組時期（年度）									
				令和2年度（2020年度）の取組目標			2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2
28-①	総務係	■ボランティアの活躍の場の提供	◆ボランティア活動の活躍の場の抽出を行い、条件整理のうえ、ボランティア団体への声かけを行う。 ◆ボランティア保険の基準策定と対象範囲の整理を行う。 ◆活動の場としての環境整備を行う。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○随時活動の場を提供した。 令和元年度（2019年度）実績 8団体に対し研修室等の貸出を行った。	【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○引き続き活動の場を提供する。	【中央図書館研修室等の貸出件数の推移】 138件 （平成28年度末（2016年度末）） → 51件 （平成29年度末（2017年度末）） ※閉館期間あり → 120件 （平成30年度末（2018年度末）） → 119件 （令和元年度末（2019年度末））	随時活動の場の提供を行う									
				○引き続きボランティア団体の活動の場として登録11団体による読み聞かせ会の開催（67回） ○えほん図書館サポーターによるフロアワークや絵本の修理等のサポート ○えほん図書館サポーター向けに絵本の修理実習講座を実施	課題検討・運用方針・適用範囲の整理 登録制度開始 活動実態把握、今後の関わり方の検討											
28-②	えほん図書館	■ボランティアの活躍の場の提供	◆ボランティア活動の活躍の場の抽出を行い、条件整理のうえ、ボランティア団体への声かけを行う。 ◆ボランティア保険の基準策定と対象範囲の整理を行う。 ◆活動の場としての環境整備を行う。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○ボランティア団体の活動の場として登録11団体による読み聞かせ会の開催（67回） ○えほん図書館サポーターによるフロアワークや絵本の修理等のサポート ○えほん図書館サポーター向けに絵本の修理実習講座を実施	【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○引き続きボランティア団体に活動の機会を提供していくとともに、えほん図書館サポーター向けの工作実習兼絵本の修理講座を継続開催し、絵本の修理が可能な人材を育成していく。	 ●登録団体による読み聞かせ ●サポーター向け「絵本の修理講座」	随時活動の場の提供を行う									
				登録制度開始 ・ボランティア活動の支援 ・交流会の実施 ・活動実態把握・発信、今後の関わり方の検討												
◆施策の方向性3 ◆ 将来に渡って持続可能な図書館運営 ◆																
29	図書・情報館	■都心にふさわしい図書館の検討	◆北1西1地区再開発事業として整備する「札幌市民交流プラザ」内に、札幌市図書・情報館を開設（平成30年度（2018年度）予定）するため、再開発準備組合が行う基本・実施設計との調整を進める。 ◆図書館協議会等の意見を踏まえ、都心にふさわしい図書館の機能（対象、規模、運営体制、位置づけ等）の検討を進める。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○令和元年度（4月～2月）の来館者数 約89万人	【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○令和2年度（2020年度）に実施する事業の詳細については、事業No4-②、8-②、12-⑤、13-③、27-③に記載のとおり。 ○蔵書については、各分野の専門家の意見を選挙に取り入れることなどによる資料の充実を図る。	 ●図書・情報館2階（予約席（手前）と自由席（奥））										
				市民交流複合施設 再開業 基本計画 基本設計 実施設計 着工 工事 竣工												
30	総務係	■計画的な施設・設備の改修	◆中央館・地区館の施設の問題点整理 ◆書庫拡大への検討・調整に伴う、施設整備計画（中央館：書庫増設や駐車場有料化の検討、地区図書館：エレベータ設置による会議室転用など書庫の配置を検討）の策定 ◆バリアフリーに対応した改修計画作成・実施 ◆保全計画など市関連部局の施策と連携した施設整備	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○曙図書館の外部、電気設備、冷暖房衛生設備、小荷物専用昇降機設備の改修工事及び澄川図書館の屋上防水ほか改修工事を実施。書庫スペースの確保についても、関係部署と引き続き調整を行った。	【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○西岡図書館のエアコン・エアカーテンの更新・保全工事を行う。書庫スペースの確保についても、引き続き蔵文化財センターや関係部署と調整していく。	 ●曙図書館の外装の改修工事										
				中央館及び地区館のトイレ改修を実施 新琴似・元町・澄川でバリアフリー化実施 書庫増設に向けての調査 中央図書館大規模改修の検討 中央館大規模改修及び地区図書館の改修の実施 地区図書館の改修の実施												
31	企画担当係	■民間活力導入の検討	◆第2次札幌市図書館ビジョンに掲げるサービスを実現できるよう、民間活力の導入の効果と課題を配慮しながら、業務委託を検討していく。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○方向性について検討を行った。	【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○効果と課題に十分配慮しながら引き続き検討を進める。											
検討 関係部署・団体との協議 関係部署・団体との協議 民間活力導入拡大の検討																
32	総務係・図書館サービス係	■図書、資料の充実に向けた寄付の促進	◆図書資料の市民からの寄付喚起（ホームページや広報誌でのPR） ◆図書購入費への充当を目的とした金銭の寄付喚起 ◆図書館備品の寄贈の呼びかけ	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○HP掲載により寄付喚起を行った。 ○市職員へ図書の寄贈を呼びかけ、488冊の寄贈を受けた。	【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○引き続きHP掲載により寄付喚起を行う。	 ●札幌市図書館HP「寄贈のおねがい」										
				HPによる継続的な市民・関連団体への寄付依頼の実施 HPに加えリーフレットの作成を検討し、継続的な市民・関連団体への寄付依頼の実施												

